

人とつながること

なぎさ小学校五年一組 存 真悠

今日は岸本さんのお話を聞きに行って、防災について学んだ。防災とは、災害を防ぐこと。岸本さんは、「自分の大切な物を守りたい。」などを話していた。私も、自分も守られている。けど、大切な人、もの、命を守りぬきたいと、改めて、今、思った。

岸本さんは、今、防災について学んでいる。時々、海外にも行って、震災のことや、自分の思うことを話している。高校生のころ、やり始めて、大切なとき、今も、学んでいる。私たちも、総合で、人と人とのつながりを、前も、今も、学んでいる。岸本さんまでとは、いかないけない、私たちも同じようなとき、やれているはずだ。

そのうちに、そのことや、防災について、ネパールの子どもたちみたいにな、最低でも、H1A下の町に、伝えていけたらいい。

私が、この世に生まれてきていない時、お

存 真悠

母さんのおなかの上から、全く知らない人が、  
一矢なわれたものはいくつかあったけれど、これ  
から生まれてくる命もあるね。こんな中で  
も、元気に生まれてきてね。  
と、言われたそうだった。たしかに、震災では、  
とても多くの物が失われた。けど、五年、  
十年と、数々の人の温かい手によって、生ま  
れてきた。私もそうだった。

岸本さんは、Tシャツに、パリコンで絵を  
書いて、メールで送った。たったそれだけで  
も、人とつながることができた。震災の時、  
救え人物資で助けられたりした。だからそう  
している。

私も、いつか、大人になったら、世界には、  
多くの人が、こまっている。だから、今日、  
学んだこと、今までずっと、学んできたこ  
とを生かして、自分や、大切な形あるものを、  
守りぬけたらいい。また先だけど、私たちに、  
今すぐできることはあるはずだ。